



## 教育目標

# 豊かな心を持ち、たくましく実践する生徒

主体的に学び続け、  
新たな価値を生み出せる生徒

互いの気持ちを尊重し、  
仲間と心が共鳴し合う生徒

生活習慣の改善に取り組み、  
心身ともに健康な生活を送る生徒

### 学力づくり

「主体的で対話的な学び」  
「基礎学力の向上」

### 絆づくり

「認め合い高め合う集団」  
「確かな人権感覚」

### からだづくり

「望ましい生活習慣」  
「メディアコントロール」

生徒

- 「なりたい自分」を目指した、主体的な授業参加
- 予習・復習など家庭学習の充実

- 差別、いじめをしません 見逃しません 許しません
- 自他の人権を尊重、温かな人間関係づくり

- 「早寝・早起き・朝ご飯」
- 「メディアコントロール」

学校職員

- 学ぶ楽しさ・分かる喜びが実感できる授業  
→単元ごとの目標と評価の共有、導入や課題、授業形態の工夫
- 個に応じた学習内容の定着(ICT活用)  
→基礎基本の定着に向けた個別最適な学びの実践、スタサプ
- 思考力、判断力、表現力の向上  
→生徒の表現活動(プレゼンテーション)の充実  
→ペア活動や話し合い活動の充実による学び合いの推進

- 多様な仲間とのかかわり、差別や偏見をもたない心、いじめをしない・見逃さない・許さない心の育成  
→部落問題学習、人権教育の実践、予防教育的生徒指導の推進
- 社会性の育成  
→あいさつ・返事の励行、社会生活や集団生活のルールの遵守
- 自己有用感の育成  
→話し合い活動を活用した自浄力の向上、学級・学年の集団づくり

- 望ましい生活習慣づくり  
→朝は6時30分までに起床、夜は11時までに就寝  
→定期的な生活習慣チェックの実施
- 望ましいメディアとの関わり方を指導  
→少年サポートセンター等の外部機関との連携  
→保護者と協力し、スマートフォンやタブレットPC等を利用する際のルールについて考える機会の設定

保護者

- 家庭学習の習慣化に向けた、学習する環境づくり
- 学びの状況や目標を学校と共有し、生徒が自身で自律して改善を図れるような働きかけ

- 思いやりや生命を大切にする心、人権を尊重する態度等の基礎を育み、互いに人権を尊重しながら生きる社会の実現
- 大人からの積極的にあいさつや声かけ

- 基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣付け
- メディアを適切に利用できる力(メディアコントロール)の定着